

掲載/取材依頼**JICA 緒方研究所・海外移住資料館 共催講演会のお知らせ**

JICA 緒方研究所と海外移住資料館では、日本で増えつつある海外からのさまざまな移住者の背景について理解を深めるため、「移住史・多文化理解オンライン講座 ～歴史から“他者”を理解する～」を、1月から3月にわたり計7回開催いたします。第6回は「アメラジアン(=アメリカ人とアジア人の両親をもつ人々)」をテーマに取り上げます。

ぜひ貴媒体へのイベント情報掲載・取材をご検討下さい。

移住史・多文化理解オンライン講座 ～歴史から「他者」を理解する～（第6回）**アメラジアンという視点**

アメラジアン(Amerasian)とは、アメリカ人とアジア人の両親をもつ人のことで、とくに米軍の派兵・駐留を背景として生まれてきた人という意味合いをもっている言葉です。日本では、在日米軍基地のおよそ7割が集中する沖縄において、多数のアメラジアンが生まれてきました。

この講演では、著作『沖縄のアメラジアン—移動とダブルの社会学的研究』(2022年、ミネルヴァ書房。沖縄タイムス出版文化賞受賞)を中心に、アメリカ合衆国における「アメラジアン」の社会問題化や、フィリピン、韓国における議論をたどります。沖縄の国際社会福祉は国際養子縁組から始まりますが、沖縄の「復帰」(施政権の日本政府への返還)を前に、母親の国籍を継承していない国際児(異なる国籍を持つ者の間に生まれた子ども)に日本国籍を取得させるための国籍法改正運動が高まります。さらに1998年には、母親たちによって民間の教育施設であるアメラジアンスクール・イン・オキナワが設立されました。

アメラジアンスクールで「ダブルの教育」を学んだ卒業生は、中学校課程を卒業した後、どのように進学し就職していったのでしょうか。「いいなあ、ハーフかついい」と、もてはやされる時代にあって、差別は過去のものになったのでしょうか。講演では、アメラジアンというフレームを通して「多文化共生」を批判的にとらえなおすことも試みます。



アメラジアンスクールが1階部分を貸与されている宜野湾市
人材育成交流センターめぶき

■日時:2023年3月7日(火) 18:30~20:00 (日本時間)

■スピーカー:野入 直美 (琉球大学 人文社会学部人間社会学科 准教授)

■主催:JICA 緒方研究所・JICA 横浜海外移住資料館共催 ■定員:1000名(先着順)

■参加費:無料 ■言語:日本語 ■形式:オンラインアプリ Zoom を使用

■お申込み:下記関連リンクよりお申し込みください。

お申し込み後の自動返信はありません。お申込みは2023年3月6日正午で締め切らせていただきます。

<https://krs.bz/jica-ri/m?f=228>

■リンク用 URL: <https://www.jica.go.jp/jomm/event/2022/2023022203.html>

■内容に関する問い合わせ: JICA 緒方貞子平和開発研究所(担当:長村) ditas-rsunit@jica.go.jp

貴社によるイベント情報掲載および、当日の取材を心よりお待ちしております!

【問合せ先】

JICA 横浜 海外移住資料館 担当:綿山 Tel: 045-663-3257/E-mail: jicayic_jomm_info@jica.go.jp